

第38回 上鶴間公民館まつり開催

3月8日(土)、9日(日)

1日目は小雪の舞う寒さでしたが、2日目は春らしい日差しが戻り、楽しみにしていた公民館まつりが盛大に開催されました。

舞台では、日頃の練習成果の発表、絵画や手芸など力作の並ぶ展示部門。お目当ての模擬店で舌鼓。工作やゲームを楽しむ人。それぞれにおまつりを満喫されていました。公民館が地域の皆さんの集いの場、新しい出会いの場なのだと実感した2日間でした。延べ参加者数は1,059人と、今年も大盛況でした。(館報編集委員 鈴木)

集い 広げ みんなの輪を

クリスタル・マンドリナース



ミュージカルの名作メドレーなど、美しい音色に聞き惚れました。

相模原 Bboys



難易度の高い技が次々と!

地元で活動するブレイクダンスチームは初登場。圧倒的なパフォーマンスに会場は大歓声。アンコールの声止まず。

割り箸鉄砲 上手くできるかな?



ボーイスカウト 相模原第2団

模擬店準備中!



ちょうど文化部が、とん汁の仕込み中でした。模擬店を出す団体は、朝早くから料理実習室に集まり大わらわでした。

転倒リスクの分かるテストに挑戦! 大丈夫と太鼓判!



ちよこっと体力チェック

ありがとう

公民館まつり会場では、度重なる災害に見舞われた、石川県能登地方、岩手県大船渡市への救援募金が行われました。総額 28,091 円をお預かりし寄付させていただきます。皆さまのご協力に感謝します。

パパと一緒にときどきママも 12/22(日) 相模原の木材でテーブル作り



代表理事の淵上さん(左)と
インストラクターのトミーさん(右)

DIY 大好きな私が父子の木工教室の取材に行ってきました。
会場の公民館大会議室に入ると、床に養生シートが敷かれていて小学校の授業ではまず使うことのない電動ドライバーが各父子分用意してありました。何か本格的な木工品を作る様子。今回のお父さんとお子さんの木工教室は上鶴間公民館では初めての試みで、小1~小3の児童限定、定員 20 組の所 42 組の応募があったとの事、すごい人気です。定員いっぱいのため 10 組ずつ2回に分けて開催されました。

講師の方は、「さがみ湖 森・モノづくり研究所」(MORIMO)の代表理事、淵上さんとインストラクターの佐々木さん(通称トミーさん)です。この MORIMO は、津久井の森と人をつなぐためさまざまな事業を展開しているとのことで、身近なことでは、古くなった市内の小学校の机の天板を間伐材で製作し交換したり、今回のように「木育」と称して子どもたちに環境の事、水資源の事など実際に木に触れてわかりやすく教える活動をしています。

さて、今回はその木育事業の企画で津久井の森の間伐材(スギ)で作る折り畳みテーブルの製作に父子がチャレンジ! トミーさんの指導により作業が始まりましたが、初めての電動ドライバーの扱いに子どもたちはもちろん、お父さんまでなれない手つきで木ネジを締めて組み立てていくのですが、淵上さんやトミーさんのアドバイスもあって、だんだん形になっていきます。

最初は子どもたちのサポートをしていたお父さんでしたが、いつの間にかお父さんのほうが一生懸命になっていた方もちらほら...それだけ本格的な教材でした。父子で協力して製作した折り畳みテーブルも1時間 30 分ほどで出来上がり。

最後にトミーさんからレーザーで文字を焼く機械で天板に名前を入れてもらって、オリジナルテーブルが完成すると、参加者はみんな嬉しそうでした。

相模原市の面積のなんと 60%が森林であり、適度に間伐して日光を地面にまで届けないと健康な森林に育たないということ、森を守ることは水資源も守るということ、このテーブル製作で学ぶことが出来ました。



頑張ってるぞ!



(相模大野ハイライズ 本橋)

完成!みんな上手

ベトナム料理教室

文化部主催
2/23(日)



(館報編集委員 小林)

薦田クインさんを講師に、留学生のオオさんとさがみはら国際交流ラウンジの森さんのサポートで、24名が参加し、ベトナム料理教室が開催されました。
ベトナムの紹介のあと、6人の班ごとに鶏肉フォー、生春巻き、緑豆(ろくまめ)プディングの3品を作ります。文化部の人たちが下ごしらえをしてくれていましたが、材料も手順も多い料理を、手分けしながら頑張って料理していました。
どの班もおいしく出来上がり、量もたっぷりで大満足でした。



薦田さん、森さん、タオさん



わんぱくチャレンジ⑤ スイーツ作り

青少年部主催
2/9(日)

パティシエの今井さんを講師に迎え、抽選で選ばれた小学生14名が参加しました。
用意された材料をよく混ぜてボールの形にまとめます。さらに小さな20個の小玉にしてオーブンで焼き上げ、粉砂糖を振りかけると、きれいな雪玉(スノーボール)スイーツが出来上がりました。
次はラッピングです。一人ひとりが絵や赤いひもで飾り立てた3個の紙コップのお菓子は、誰にあげるかも決めておいていきます。
持ち帰りの他に、自分用に少し残したスノーボールを味見した子も、「おいしい」と大満足でした。
(館報編集委員 渋谷)



ウインターコンサート

文化部主催 12/15(日)



冬晴れの午後、文化部恒例のウインターコンサートが開かれました。今年は「ビッグママ・プロジェクト」という読み聞かせママの会から生まれた音楽隊 Luann(るあん)をお迎えしました。「一音一会の出会い」をコンセプトに、アコーディオン、バイオリン、マンドリン、フルートなどの楽器を演奏するパフォーマンスアンサンブルで、フランス・パリの街中を練り歩き演奏した経験もあるそうです。

アコーディオンの独奏で幕が開け、クリスマスキャロル・メドレーや「おおシャンゼリゼ」など馴染みのある曲の数々に心が弾みます。懐かしの昭和歌謡では、公演プログラムに挟み込まれた歌詞カードを見ながら大合唱でした。後半もサウンドオブミュージックやクリスマスソングなど楽しい曲の数々に自然と拍手が沸き起り、拍手喝采のなかフィナーレへ…あっという間の2時間でした。

舞台の脇に飾られたクリスマスツリーも素敵でした。来年も楽しみにしています。

(パークスクエア相模大野 堀田)



第38回上鶴間公民館卓球大会

体育部主催 2/9(日)



記録的な寒波で風の冷たい日でしたが、参加者16名(10代から80代)の熱気で会場の谷口小学校体育館では半袖の選手もいました。午前中はシングルス。一般と初心者の部にわかれて行われました。初心者の部では、ルールの確認、サーブの打ち方などのレクチャーを受け、卓球の楽しさも一緒に教わっていました。一般の部は組み合わせから親子対決になったゲームもあり、華麗なプレーが出ると会場からは大歓声!

午後はダブルス。抽選ではじめましてのペアもお互いに上手にコミュニケーションを取りながら、熱い戦いを繰り広げていました。

館区外からもたくさんの参加者がいて、伝統ある大会が年々盛り上がってきています。

(南新町 川原)



参加者の感想
(アンケートより)

負けましたが非常に楽しかったです。
楽しい時間でした。
もう少したくさん試合がしたかった。
初心者の決勝戦がなかったのが残念でした。

谷口自治会 鹿島神社 節分祭



今年は2月2日(日)が節分、谷口の鎮守、鹿島神社でも節分祭がおこなわれました。

朝から冷たい雨が降るあいにくの天気でしたが午後には雨もやみ3時からの豆まきも無事開催。

豆まきは二回。一回目には本村賢太郎市長も駆けつけ、神社関係者、自治会役員などといっしょに「鬼は外、福は内」の掛け声にあわせ福豆やお菓子をまきます。

参拝者もすごい盛り上がり、まかれるたびに子どもの歓声が上がりに争奪戦もおこりますがみんな楽しそう。戦利品?を手に満足して帰る皆様の笑顔が印象的でした。(谷口 河口)

まちの話題

90



パークスクエア相模大野自治会

絵本の 読み聞かせ会



12月21日(土)、1歳から小学2年生までの子ども8人が参加し、クリスマスの絵本や英語の絵本など6冊の絵本を読みました。絵さがし絵本や体を動かす絵本ではみんな積極的に参加してくれました。読み聞かせの後には、50冊以上の絵本の中から好きなものを選んで読んだり、大人に読んでもらったりしていました。子どもだけでなく大人も絵本の楽しさを改めて感じる、いい機会になりました。

(パークスクエア相模大野 堀田)



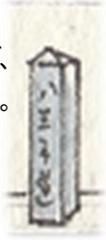
館長のつぶやき:新年度始まりました。「創造と継続」地域の皆様と。



八王子道

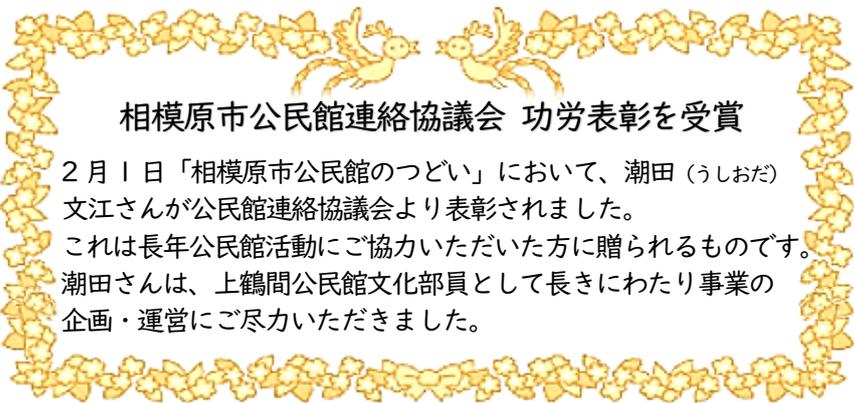
歩いてみよう ⑭

谷口中学校の前を通っている道で、地域の人達が旧道と呼んでいます。国道16号線に沿うように北は八王子まで通じています。昔、絹織物の産地として商業の中心地となり、「桑の都」といわれた八王子と横浜を結ぶ道は、「絹の道」と称され、相模原も養蚕が盛んで繭や生糸を八王子へ運んでいたため、「八王子道」と呼んでいました。



相模原市公民館連絡協議会 功労表彰を受賞

2月1日「相模原市公民館のつどい」において、潮田(うしおだ)文江さんが公民館連絡協議会より表彰されました。これは長年公民館活動にご協力いただいた方に贈られるものです。潮田さんは、上鶴間公民館文化部員として長きにわたり事業の企画・運営にご尽力いただきました。



新春落語会



1月12日(日)に文化部主催の「新春落語会」が開催されました。出演は真打立川談修師匠。チケットは即完売。

真打の古典落語を三席堪能し、初笑いで明るい一年が始まりました！

～ガイドさんからのひと言～

同じ道筋でも、その目的地や向かう方向によっていくつもの名称を持っています。境川に沿う道筋は久保沢道、神奈川道、横浜道などと、また上鶴間地区の谷口集落では「山野通り」と呼んでいました。

上鶴間公民館 運営協議会公募委員募集

公民館に関心があり、公民館活動に熱意をお持ちの方のご参加をお待ちしています。

内容：公民館の各種事業の企画実施、運営について協議し、その推進にご協力いただきます。

開催回数：年3回程度

※主に夜間の時間帯(18:00~21:00)に開催予定

募集人数：2名

任期：委嘱の日(本年6月)から2年

対象：上鶴間公民館区内在住の18歳以上の方

募集期間：令和7年4月29日(火)まで

応募方法：任意の用紙に住所、氏名、年齢、電話番号、応募の動機(400字程度)を書いて公民館へ、直接または、郵送、Eメールで提出してください。

選考結果：選考委員会で選考し、5月下旬に結果を応募者全員にお知らせします。

上鶴間公民館：〒252-0318 相模原市南区上鶴間本町7-7-1

TEL：042-749-6611

Eメール：kamitsuruma-k@city.sagamihara.kanagawa.jp

あとがき

さあ、新年度です。外へ一歩出ると真新しい制服やスーツに身を包み、新生活をはじめた人たちが目に映ります。きっと緊張しながら挨拶を頑張っているんだろうな、と勝手ながら想像し、心の中で応援しています。新生活をはじめた人たちのように、地域でも挨拶が広がるといいですね。私もご近所の方から挨拶をはじめたいと思います。

さずき 浅田



ホームページでは館報をカラーでご覧いただけます

上鶴間公民館

検索

